芝久保小学校 研究だより

令和８年11月2日（月）No.2　西東京市立芝久保小学校　研究主任

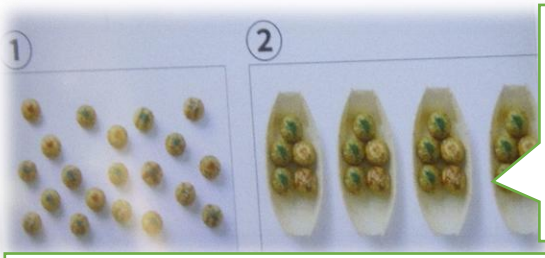
低学年分科会 実践報告

2年生「新しい計算を考えよう」

低学年分科会 目指す児童像

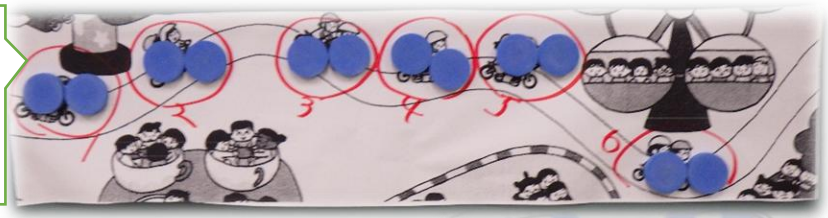
考えをもつ
様々な方法を使って自分なりに解決の見通しをもつ児童

考えを深める
友達と考えを比べ、より良く考える児童



【かけ算のよさに気付かせるための導入教材の工夫】
バラバラになっているたこ焼きと、同じ数ずつきれいに舟皿に入っているたこ焼きを提示して、数えやすさについて考えさせました。「舟に入っているから数えやすい」という考えからまとまりで見る良さに着目できるようにしました。

「まとまりで考えると数えやすい！」
１台に2人ずつ、6台で……まとまりごとに数えることで、全体の数を簡単に表すことができることを実感しながら授業を進めていきました。









「あれ？まとまりが…」
「でも、これもまとまりにできるよ！」
子どもたちはどんなまとまりを作ったと思いますか？授業では、二通りのまとまりが出てきました。

「まとまりに着目させること」
今日から始まった「新しい計算を考えよう」。この単元では、かけ算について学習します。これまでに学習した式とは違い、【一つ分の数】×【いくつ分】で考えることが大切になります。「かけ算は九九を覚えればいい。」「3×4も4×3もどちらも答えは12だからどちらの式でもいい。」もしかしたらそう考えている方もいるかもしれません。しかし、それではかけ算の意味を理解することは難しく、考えを深めることはできません。

「まとまりで考えると数えやすい！」
子どもたちは自転車に乗っている人数もコーヒーカップに乗っている子の人数もたし算を用いて計算していました。「その式を簡単に表すと…」研究授業を終えて、子どもたちはいよいよかけ算について学習を深めていきます。

2学期になり、2年生としてさらに自覚をもって生活する姿が多く見られるようになった子どもたち。先日の生活科見学では、1年生のために一生懸命活動する姿が本当に素晴らしかったです。小坏先生の話を真剣なまなざしで聞いている3組の子どもたち。これからも「やってみよう！」という挑戦する心を大切に、更なる活躍を期待しています。